

## ファイナルレポート

国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市  
上海マシンビジョン見本市 / マシンビジョンテクノロジー&アプリケーション カンファレンス  
2023年7月11日～13日 / 中国・National Exhibition and Convention Center (NECC)

2023年7月13日

### 第17回 LASER World of PHOTONICS CHINA

業界の飛躍を眼前に展開し、未来を輝かせる

#### Summary

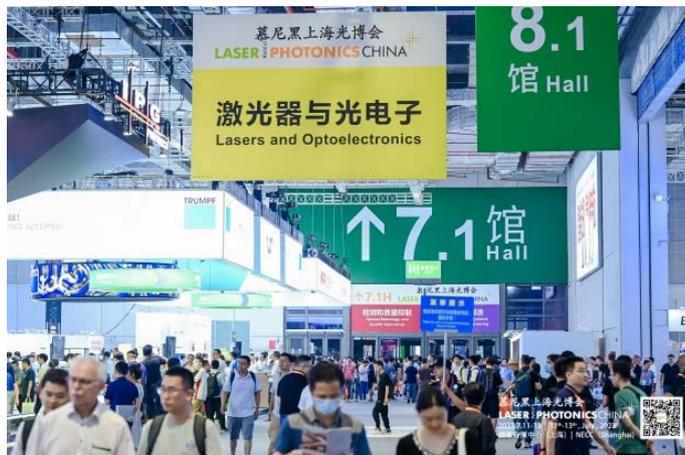
- 3日間で94,648人の業界関係者が来場
- 80,000㎡の展示スペースに1,160社が出展
- 注目のテーマエリアは、新エネルギーと新エネルギー車



#### Facts & Data

会 期	2023年7月11日(水)～13日(金) 9時～17時(最終日16時まで)
会 場	中国・National Exhibition and Convention Center (NECC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	80,000㎡(2021年:63,500㎡)
出 展 企 業	1,160社(2021年:18カ国から1,094社)
来 場 者 総 数	94,648人(2021年:79,453人)
専 門 分 野	レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、マシンビジョンイルミネーション
主 な 出 展 品	<b>光学コンポーネント</b> : レーザー・オプトロニクス、オプティクス、センサー、検査・計測、サービス <b>オプティカル製造技術・光学アプリケーション</b> : レーザー加工・製造技術、オプティカル計測システム、医療用レーザー、バイオフォトニクス・ライフサイエンス、イメージング、イルミネーション
専 用 U R L	<a href="http://www.world-of-photonics-china.com">www.world-of-photonics-china.com</a> (英語 / 中国語)

中国・上海で開催された第 17 回 LASER World of PHOTONICS CHINA は、2023 年 7 月 13 日に大盛況のうちに幕を閉じた。80,000 m<sup>2</sup>の展示スペースに、出展者 1,160 社と来場者 94,648 人が集まった。LASER World of PHOTONICS CHINA 2023 では、中国国内外の世界的に名の通ったオプトエレクトロニクス企業が、様々な応用分野の来場者に多様な高度技術製品を紹介した。そして、製品の紹介、技術デモの実施、学術会議の同時開催、さらに、来場者に対して、「見て、聞いて、触れて、話し合う」ことの直接体験ができる見学会、学習会、交流会などを織り込んだ楽しみのあるツアーが実施された。



主催者メッセ・ミュンヘンの CEO ラインハルト・ファイファーは、「全関連業界のパートナー・出展者・来場者各位のご支援のおかげで、LASER World of PHOTONICS CHINA 2023 が目覚ましい成果を上げ、大成功を収めたことを大変うれしく思う。今後も業界が、技術を共有し、最先端のトレンドを展開し、ビジネスチャンスを拡大していけるハイクオリティ・プラットフォームとしての役割を果たし、業界の一層の繁栄に尽力していきたい」と述べた。

### オプティクスの下に、業界をつなぐ最高のビジネスの場

LASER World of PHOTONICS CHINA は、アジア市場全体を念頭に置き、中国に根付いて成長してきた。そして、世界のオプトエレクトロニクス産業の技術革新と新世代情報技術によるターミナルアプリケーションの需要の高まりに伴い、業界のオプトエレクトロニクス技術を結び付け、中国と世界との技術交流を促進する役割を果たしている。この見本市は、オプトエレクトロニクス産業チェーン全体の革新的な製品を紹介し、総合的なソリューションを提供し、業界の川上から川下まで全体にわたる国際的でしかも密度の高い産学研交流環境の構築に注力している。

メッセ・ミュンヘン上海の COO ルー・ワンビンは、「新エネルギー自動車、人工知能、AR/VR、バイオメディカル治療は、現在間違いなくオプトエレクトロニクス技術の新たな応用分野であり、レーザーを代表とするフォトニクス製造技術の発展に強い勢いを与えている。レーザー部品、産業用レーザー、レーザーインテリジェント機器などには、今後、飛躍的に進歩する可能性がある。LASER World of PHOTONICS CHINA は、オプトエレクトロニクス産業のグローバルビジネスプラットフォームとして、業界全体をつなぐ役割を果たしていきたい」と述べている。

### オプトエレクトロニクス産業に大きな可能性をもたらす、注目のアプリケーションを紹介

近年、新エネルギー自動車、PV、ESG、バイオフォトニクス、AR/VR が世の中に広く注目を集めている。レーザーと光学業界の各企業は、これらの注目されている分野への応用拡大に重点を置き、積極的に新しいビジネスを展開している。そして、TRUMPF 社、Scanlab 社、Zeiss 社、Coherent 社、IPG 社、



MKS 社、AMETEK 社、AMPLITUDE 社、Renishaw 社、Zurich 社、Rosendahl Nextrom 社、EKSPLA 社、LASERVAL 社、そのほかドイツ、アメリカ、フランス、イギリス、スイス、フィンランド、リトアニア、イタリア、オーストラリア、日本、韓国などの世界的に知名度の高い多くの企業が出展している。

また、Han's Laser 社、Huagong Laser 社、RAYCUS、Maxphotonics 社、Reci 社、HUARAY 社など、成長過程にある新興中国オプトエレクトロニクス企業も出展している。中国企業とグローバル企業両者の交流は、新たなターミナルアプリケーションに対応して生まれる

革新的な製品と技術の開発促進に期待が持てる。

TRUMPF 社(中国)CEO の Zhe Huang 氏は、「LASER World of PHOTONICS CHINA は、専門性の高いプラットフォームであり、しかも、顧客と直接に交流できる絶好の機会である。それゆえに当社にとって非常に重要な見本市となっている。当社は第 1 回から出展している。今後も継続して参加し、主催者とともに中国のレーザー産業の発展に貢献していきたい」と語った。



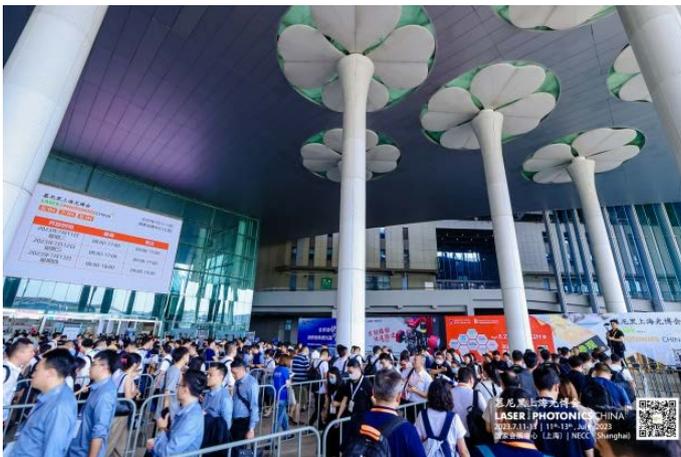
株式会社ミットヨ(上海)社長の坂田幸寛氏は、「LASER World of PHOTONICS CHINA への出展によって、レーザー加工業界が幅広い顧客にサービスを提供し、市場が成長していることを実感している。これからも、見本市を通して、お客さまのニーズに耳を傾け、期待に応えていきたい」と述べた。

### 注目の 2 つのテーマエリア

自動車製造業はレーザーの応用範囲が広い産業である。レーザー溶接は、新エネルギー自動車とパワーバッテリーの生産能力、航続距離、最上級の設計、知的・精密製造などのニーズに的確に応えることができ、新エネルギー自動車産業の発展に貢献している。

LASER World of PHOTONICS CHINA 2023 では、「“Laser+”新エネルギーと新エネルギー自動車の特別エリアが設けられ注目を集めた。「“Laser+”Tour」では、Coherent 社、TRUMPF 社、Raycus 社、Precitec 社、EMAG 社などの企業が交代で、リチウム電池、自動車ボディ、太陽光発電、そのほかターミナルアプリケーション向けの最先端技術と注目製品を紹介している。

人類文明の発展に光の時代がなかったら、今日の情報化社会は到来しなかった。人類は新たな光子の時代を切り開き、光技術の発展によって未来はより輝きを増すであろう。LASER World of PHOTONICS CHINA 2023 では、オプティクスの魅力を深く紹介するため、Sunny Optical 社と Ocean Insight 社と共同で、光学の歴史、光学の応用、光学の経験、光学の探求という 4 つの展示エリアを設けた Optical Museum を設置した。ここでは、光学と生活の視点から、スマートフォン、インテリジェントビークル、ロボット、インテリジェントセキュリティ、インテリジェント光学検査、VR/AR の主要 6 分野における最先端の製品と技術が紹介された。そして、その技術を応用してスマートライフとインテリジェント時代と銘打った 30 件以上の展示も行われた。



BMW Brilliance Automotiv 社の Zhigang Hou 氏は、「LASER World of PHOTONICS CHINA に出展する主な目的は、中国のレーザー関連の加工技術と製品に関する実状を見ることにある。見本市を通じて、中国の新興メーカーの技術水準を知り、実際に多くの新製品と新装置を見ることができた。また、レーザー技術に対する理解も新たに深まり、大変有意義だった」と述べた。

産・学・研の専門家が 10 以上の同時開催フォーラムに集い、オプトエレクトロニクスの未来を語る PHOTONICS CONGRESS CHINA が、今回も LASER World of PHOTONICS CHINA と同時開催された。PHOTONICS CONGRESS CHINA では、「2023 Optical Made in China 2025 Forum」、 「Infrared Detection Technology Frontier Forum」、 「Optical Metrology and Intelligent Manufacturing Forum」、 「Laser Technologies Innovations Continue to Enable Intelligent Manufacturing Forum」、

「Laser Technologies Promote New Opportunities for the Development of Pan-Semiconductor Industry」、「LIDAR Technology and Application Frontier Forum」、「New Energy Automotive Laser Technology Frontier Forum」、「Optical Coating Technology and Application Seminar」、「The Photonics Field of Key & Core Technology Industry Investment Forum」、「Short Course: Advanced Optical Instrument Designing」など、105 件の講演が行われ、基礎的な理論研究から、技術的な課題への対処、応用上のボトルネックの克服、開発動向の調査に関する議論までにわたって、光学技術、レーザー技術、先端レーザー、赤外技術、そのほかの科学技術研究開発の成果と進捗状況など、幅広いテーマが取り上げられた。国内外の著名な専門家や学者が一堂に会し、多くの聴講者でにぎわった。

次回の LASER World of PHOTONICS CHINA は、2024 年 3 月 20 日から 22 日まで上海新国際見本市会場で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用 HP [www.world-of-photonics-china.com](http://www.world-of-photonics-china.com) まで

LASER World of PHOTONICS CHINA / Vision China 2023 主な出展日本企業(現法出展など含む)

(株)アートレイ、旭興産(株)、(株)アマダウエルドテック、ウシオ電機(株)、(株)エビデント、沖電線(株)、(株)オハラ、(株)片岡製作所、(株)キーエンス、キヤノン(株)、キヤノンアネルバ(株)、興和(株)、(株)小坂研究所、コニカミノルタ(株)、santec(株)、SCIVAX(株)、シーシーエス(株)、CBC(株)、(株)島津製作所、信越化学工業(株)、ダイトロン(株)、(株)テクニスコ、(株)ニコン、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテク、(株)フェローテックホールディングス、(株)ミットヨ、(株)モリテックスなど (50 音順)

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)